

サラリーマン川柳 (嫁と義母 二人に気遣う 僕と義父)

(同窓会 抜け毛自慢で 主役とり)

(いつやるの? 聞けば言い訳 倍返し)

(窓際は 太陽だけが あたたかい)



第1055号2020.11.11 連合中越地域協議会 長岡市愛宕3-7-24 TEL 0258-86-0111 FAX 0258-86-0884 発行人 矢島 良彦 定価 1部10円 購読料は会費を含む



中越地協S Jネット委員会 農園事業」 ジャガイモの収穫に大勢参加

連合中越地協S J ネット委員会「農園事業」のジャガイモ掘りが、11月1日(日)午前9時から行われた。



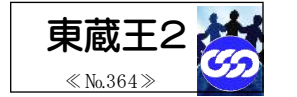
通称S Jネット農園は、認定NPO法人UNEが管理する信濃川河川敷福祉市民農園。8月8日にジャガイモの作付を行ってから、約3ヶ月が過ぎた。当初は、11月3日にフードバンクにいがた長岡センターからの参加者とともに収穫する予定としていたが、天気予報が「雨」を予報していたことから、急遽1日に変更した。

受付会場となった千秋ふるさとの森管理事務所には、9時前から参加者が集いはじめた。母親に手を引かれての参加者やフードバンクにいがた長岡センターの支援団体、協力団体のUNEの皆さんが、国土交通省河川協力団体として認定を受けているため。この活動は、河川管理者に協力して、河川の維持管理に努める活動(主に河川や堤防の除草や清掃を行い、快適で使いやすい河川の維持。安全に利用するための講習会。観察会。生態系を維持するための活動、調査研究など)を行っている。参加者は、両手に軍手、マスクを着用してビニール袋を片手に信濃川土手のゴミを拾いながら畑に向かった。ゴミを拾う理由は、畑を管理している団体が、河川管理者に協力して、河川の維持管理に努める活動(主に河川や堤防の除草や清掃を行い、快適で使いやすい河川の維持。安全に利用するための講習会。観察会。生態系を維持するための活動、調査研究など)を行っている。



今年、新型コロナウイルス感染症に伴い、我々の生活において、さまざまな変化をしております。みなさまの仕事においても、職場環境が変化し、慣れない中、日々試行錯誤し、苦勞しながら仕事を進めているかと思えます。▼全国的な変化と言え、テレワークの普及だと思えます。普段利用している職場とは違った場所での仕事することが増えているそうです。駅やビルにもある「コゴデスク」やスキーマのゴンドラを利用したり、利用する方がいるそうです。圧倒的に増えている場所は、やはり、自身の住まいではないでしょうか。自身の住まいの中でテレビ会議や日常業務を行うことが増えております▼住まいで仕事をすることが増えている。そのまますぐに揚げると丁度良い小さなものもある。ゴロゴロと大収穫。子どもたちも懸命に引き抜き、土をかき分けてジャガイモを掘りあてていた。S Jネット委員や幹事役員は、そのお手伝いを行った。

副議長 猪股和樹
えたことにより、新しい住まいを求めるモノが変わっているようです。快適な住環境や働く場所(ワークスペース)を備えていることがニーズとしてあるそうです。特に、個室のワークスペースを用意し、なおかつ防音やライティングに配慮するオプションも生まれてきております。テレワークの影響で住まいの考え方がさらに変化していくでしょう▼世の中の変化に伴い、さまざまな物事が変わり、我々の生活に影響をあたえ、今後、賃金面や労働条件においても変化していくことも考えられるでしょう。また、労働組合の活動も変化に対して柔軟に対応できるよう、知恵を絞って取り組んで行きましょう。



約一時間ほどの作業で、予定した38m3畝を終了。コンテナ9個と一輪車一台分を収穫した。その後、昨年の台風で影響を受けた場所、石を拾い積み上げ高さを競うゲームです。子どもにはお菓子



一袋が渡されて楽しいジャガイモ掘り体験を終了した。その後、NPO法人UNEの皆さんとS Jネット委員とで反省会を行った。

連合中越S Jネット委員会 第15回定期総会
日時 12月9日(水)18:30～
場所 アトリウム長岡
内容 2020年度活動報告 2021年度活動計画 他

サラリーマン川柳 (宝くじ 妄想だけで 盛り上がり) (身近にも 偽装があった 妻の顔) (コピーして 昔の姿に もどりたい) (母不機嫌 何かしたかと 焦る父)

連合小千谷支部だより

10月24日、連合小千谷支部、小千谷地区労福協合同イベントとして、小千谷市市民学習センター楽集館においてライフプランセミナーを開催しました。

講師に連合新潟より桑原典子副事務局長をお招きし、同一労働同一賃金について事例を織り交ぜながらわかりやすく講演いただきました。

なお、講演後にクリーン作戦を予定していましたが、突然の雨により中止となりました。



南魚沼市長選挙 11月15日投票日

連合新潟中越地域協議会は

黒岩ようこう氏を応援しています

PROFILE
黒岩ようこう Yoko Kuroiwa

- 1981年 南魚沼市生まれ
- 1987年 (当時) 大和町立浦佐小学校入学
- 1993年 大和町立大和中学校入学
- 1996年 県立六日町高校入学
- 1998年 米国マイアミ大学入学
- 2005年 オランダ・ユトレヒト大学院修了
- 2006年 毎日新聞社入社 奈良支局、尾道支局
- 2010年 アフリカのケニアの難民キャンプで国連やNGOで勤務
- 2014年 スイス ジュネーブで国連職員
- 2016年 中東ヨルダンで国連職員の妻に寄り添う。長男出産後に妻が他界し、南魚沼市へリターン。0歳児の育児に没頭
- 2018年~2020年 お寺民宿「ホテル」やシェアハウスを開業

再婚し、現在妻と2男

内部討議資料

新潟ろうきんとこくみん共済coop(全労済)は はたらく皆さまの暮らしを応援します



労働組合の中から生まれ、育ってきたろうきん・こくみん共済coopは、労働組合の組合員がみんなで金を出しあってつくった労働者のための金融機関であり、助け合いの仕組みです。職場の課題だけでなく、一人ひとりの生活の分野で、はたらく人同士がお互いを支えあうことを目的につくられました。日常の労働組合活動の両輪としてろうきん・こくみん共済coopを活用することで、組合員の幸せを叶えています。

新潟ろうきんでは、新型肺炎感染拡大の影響による収入減少等に伴う各種相談を承っています。

地域により一時的な生活資金が必要

当分の生活費等の **新たなお借り入れ**をご提案いたします

組合員の方だけがご利用できる **勤労者生活支援特別融資制度** (新規・無担保) がございます。

減収で返済が大変

有米のボーナス返済が心配

現在、**ご利用中のローン見直し**をご提案いたします

ろうきん以外の金融機関でお借り入れされている方もお気軽にご相談ください。

Webからのお手続きで「子どもたち」と「地域」に人しんを届けよう

どこでも♡ろうきん

2020年12/31日まで 500万円

「どこでもろうきん」の流れ

「ろうきん」はご自宅等、場所や時間を問わずお取引ができるから安心です。

放課後児童クラブ

主に共働き家庭等の小学生に遊びや学習の場を提供し、健全な成長を促す取組です。

放課後等デイサービス

6歳から18歳までの障がいのある子どもたちが放課後、夏休みなど長期休日に利用できる施設サービスです。

ろうきんダイレクト(インターネットバンキング) | ろうきんアプリ | 住所変更

たすけあいの輪を、もっとみんなに。

こくみん共済 coopはさまざまな社会課題や健康増進のサポートに取り組んでいます。

7才の交通安全プロジェクト

7才の交通安全プロジェクトは、未来ある子どもたちを、みんなで事故から守っていく取り組みです。

これまでに約4,400本の「横断旗」を新潟県交通安全協会に寄贈しました。

子どもの成長応援プロジェクト

子どもの成長応援プロジェクトは、子どもたちがぐやかに育ち、たすけあいの気持ちを次の社会につないでいく。未来へ向けた新しい取り組みです。

これまでに約900本の「なわとび・長なわ」を県内の小学校などに寄贈しました。

横断旗やなわとび・長なわは、共済に関するみなさまからの見積もりや資料請求、およびご加入の数に応じて寄贈します。みなさまからの「力」を形にするこの取り組みに、ぜひご参加ください。

組合員の健康診断未受診者をなくすための取り組み

安心と豊かな生活のための「健康点検サービス」

法律では企業に対して健康診断を義務づけられており、多くの会社員は企業が実施する健康診断を受けています。一方で近年、主婦や個人事業主の方々の健康診断や人間ドックの受診率が低い傾向にあります。こくみん共済 coopでは、一人でも多くの方に健康な毎日を送っていただくために、健康点検が自宅で簡単に受けられるサービスを特別価格で提供しています。これからは「もしも」のときのための保険の提供だけでなく、「事前の備え」としての健康増進への取り組みを展開していきます。

※詳しくは右記のQRコードからHPをご確認ください

新潟県労働協 電話 025-281-0890 | ろうきん 電話 025-223-8231 | こくみん共済(全労済) 電話 025-284-6031